岡谷小学校統合計画
－岡谷小学校の今後のあり方に関する方針－

平成２６年７月
岡谷市・岡谷市教育委員会

計画の策定にあたって

開校以来１４０年余の歴史の中で、地域に愛され、支えていただいた岡谷小学校でありますが、地盤の安全性に課題がある中で、児童の安全な教育環境を確保するため、現在地での学校の歴史を閉じさせていただくことになりました。

地域にとって大切な学校を無くさなければならないことの心の痛みを、市及び市教育委員会として真摯に受け止めているところであります。

本計画の策定にあたり、市及び市教育委員会は、未来を担う子どもたちが健やかに育ち、夢と希望を持って学校で過ごせるよう、より良い教育環境を作り上げていくことが大切と改めて決意したところであり、大切なお子様を預かる立場として、「おかや子育て憲章」に掲げた理念を実践するとともに、子どもたちの学力向上と自立支援に力を注ぎ、最善を尽くしてまいります。

計画の理念

岡谷市及び岡谷市教育委員会は、岡谷小学校の児童の安全、安心な教育環境の確保に向けて、計画の柱となる**「理念」**を岡谷小学校と関係する相手校との**「統合」**とし、それぞれの学校の良さや伝統などを礎にしながら、それぞれに融合していくことで、子どもたちが夢と希望を持って通うことのできる、楽しい、**魅力ある新たな学校づくり**を進めてまいります。

骨格となる基本方針

１　児童の安全確保のため、岡谷小学校は平成２８年４月に統合します。

２　統合対象校を田中小学校、神明小学校とし、岡谷小学校と融合した魅力ある新たな学校づくりを進めます。

３　平成２８年４月から岡谷小学校の児童は、それぞれの統合対象校へ通学することになります。

４　岡谷小学校の学籍、財産などを継承する拠点校を田中小学校とします。

※基本方針に対する考え方 ⇒ 次ページへ

基本方針に対する考え方

【1】児童の安全確保のため、岡谷小学校は平成28年4月に統合します。

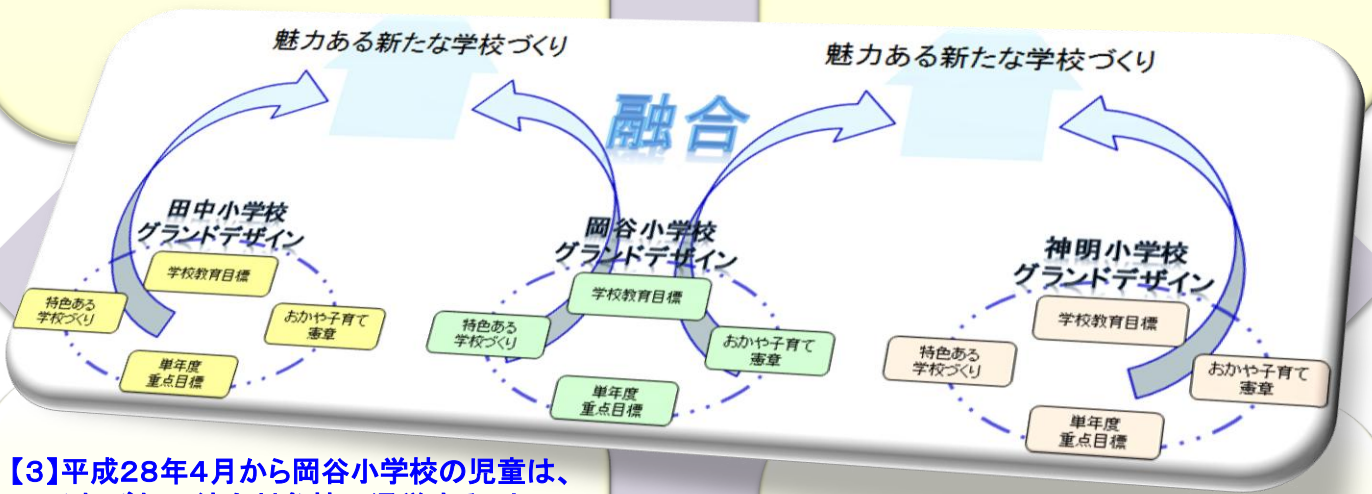
平成27年度までに学校施設の耐震化を完了させることは、国の方針により、全国の市町村が取り組んでいる喫緊の課題であり、市内の学校施設の耐震化100％をめざす、岡谷市としての目標期限です。

現在の校地環境では、校舎の耐震改修ができず、また、敷地を将来に亘って建設用地としても活用できないことから、児童の安全な教育環境の確保を第一に考え、耐震化完了の期限としている平成27年度末をもって、岡谷小学校は学校施設としての利用を取り止め、平成28年4月に統合することとします。

【2】統合対象校を田中小学校、神明小学校とし、岡谷小学校と融合した、魅力ある新たな学校づくりを進めます。

田中小学校、神明小学校を岡谷小学校と統合する基本的な統合対象校とし、それぞれの統合対象校において、岡谷小学校と融合した新たな学校理念（グランドデザイン）を構築するほか、特色ある学校づくりなどを継承、発展させながら、それぞれの学校の優れた面を更に伸ばすことのできる、魅力ある新たな学校づくりを推進してまいります。

また、統合に込めた想いを市内全ての学校が共有し、市を挙げた魅力ある学校づくりをめざしてまいります。



【3】平成28年4月から岡谷小学校の児童は、それぞれの統合対象校へ通学することになります。

平成28年4月以降、現在の校舎を使い続けることは、大切なお子様を預かる学校設置者の責任においてできないことから、岡谷小学校に通う児童は、それぞれの統合対象校に通学していただくことになります。

この対応は、岡谷小学校から児童が新しい学校へと移るだけでなく、学校の統合という計画の理念に基づき、児童も先生も学校の中身も関係する学校がひとつになって、楽しい、魅力ある新たな学校づくりを進める取り組みにしてまいります。

【4】岡谷小学校の学籍、財産などを継承する拠点校は田中小学校とします。

岡谷小学校の学籍のほか、財産などを継承する統合拠点校を田中小学校とします。

田中小学校では、平成28年4月以降の児童数、学校規模に合わせて、教室数の充実を図る必要があるため、計画の実施に向けて、教室などの施設整備を進めてまいります。

また、統合対象校（神明小学校）の充実を図るほか、関係する中学校についても、計画の実施に伴う状況の変化に応じた施設整備等を行ってまいります。

＜児童へのケア＞

環境が変わる児童が戸惑うことなく、スムーズな移行ができるよう、準備段階から児童や先生の交流を進め、児童へのケアに対しては、教職員の配置にも留意しながら、最大限の配慮を行ってまいります。

また、通学路の変更にあたっては、児童が安全に通学できるよう、通学路の安全性の確保や低学年児童の通学距離を踏まえた支援等の検討を進めてまいります。

通学区域の指定変更に向けた基本的な考え方

通学区域の変更につきましては、地域性等を十分に考慮した上で、行政区単位による指定の変更を基本に考えており、 この考え方を基本に置きながら、最終的な通学区域の指定につきましては、保護者や地域の関係者の意向を確認した上で、9月中を目途に方針を固めてまいります。

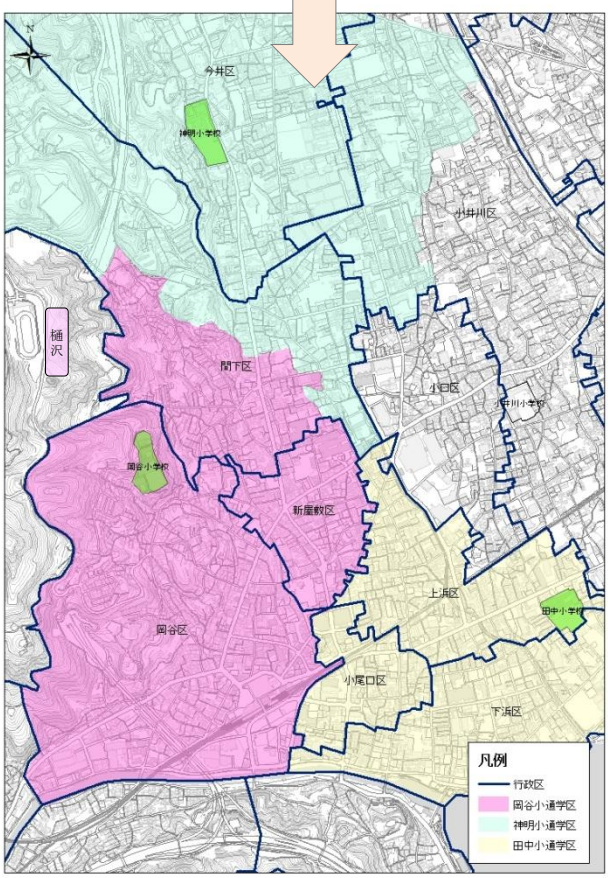
なお、通学区域の変更後における学区外への就学につきましては、個別の事情を踏まえた上で、柔軟に対応してまいります。また、小学校の通学区域の見直しに伴う中学校区への影響を考慮して、中学校の通学区域についても見直しを検討してまいります。

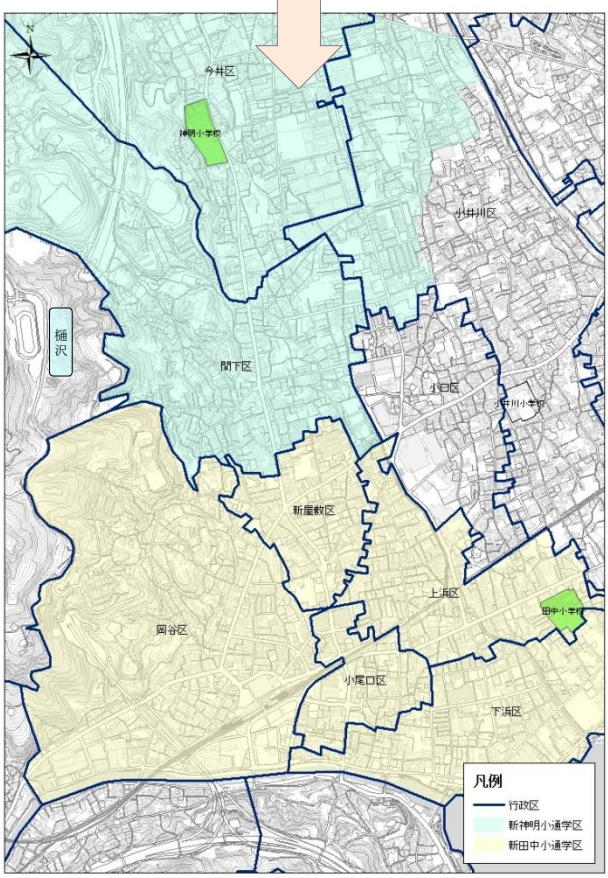
≪現行の通学区域≫

学校名	通学区域
岡谷小学校	間下区5,7～15町内、岡谷区、新屋敷区、樋沢
田中小学校	下浜区、小尾口区、上浜区
神明小学校	今井区1,4～12町内、今井区3町内国道下、間下区1～4,6町内、小井川区12,13,15,16,17国道下、18,22,23,24,26,27,28町内

≪新たな枠組みの基本形となる通学区域（案）≫

学校名	通学区域
田中小学校	下浜区、小尾口区、上浜区、**新屋敷区、岡谷区**
神明小学校	今井区1,4～12町内、今井区3町内国道下、小井川区12,13,15,16,17国道下、18,22,23,24,26,27,28町内、**間下区、樋沢**





＜各小学校の児童数の想定＞

通学区域の新たな枠組みの基本形をもとに、実施初年度となる平成28年度の児童数及び学級数を推計し、これを新しい通学先に移った後の各学校規模の想定とします。

＜通学区域の新たな枠組みを前提とした各小学校の児童数及び学級数の推計＞

	H26.5月現在		H28年度推計	
	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数
岡谷小	259	11	0	0
間下区	71	－	0	－
岡谷区	136	－	0	－
新屋敷区	52	－	0	－
神明小	362	14	440	16
田中小	240	10	446	18

※学級数に特別支援学級は含みません。

今後の進め方 ～子どもたちにとって最善の統合に向けて～

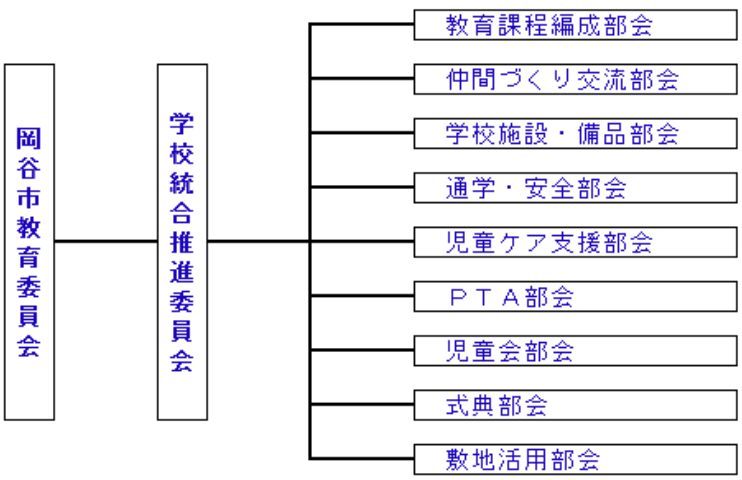
＜統合に向けた推進体制の構築と検討・取組み＞

平成28年4月の統合を円滑かつ確実に実施していくため、校長先生、教職員、保護者、地域の代表者等で組織する、(仮称)学校統合推進委員会を設置し、計画の実施に向けた諸課題の検討、協議を進めてまいります。

委員会では、新しい学校生活をはじめる児童がスムーズに溶け込めるよう、また、魅力ある新たな学校づくりをめざして、分野別に部会を設け、より良い学校環境づくり、スムーズな移行、子どもたちにとって最善の統合に向けた準備を進めてまいります。

保護者、住民の皆さんに対しては、委員会の中で協議、決定した事項等について、定期的に情報発信してまいります(例:学校統合情報など)。

＜(仮称)学校統合推進委員会組織図(案)＞



統合に向けたスケジュールのイメージ(案)

	平成26年度 上半期	平成26年度 下半期	平成27年度 上半期	平成27年度 下半期	平成28年度 上半期	平成28年度 下半期
魅力ある新たな学校づくり(統合推進)		推進委員会設置			4月統合(新しい学校環境へ)	
教育課程編成		検討・実施				
仲間づくり交流		検討・実施				
学校施設・備品		検討・実施				
通学・安全		検討・実施				
児童ケア支援		検討・実施				
PTA一元化等		検討・実施				
児童会一元化等		検討・実施				
式典		検討・実施				
敷地活用		検討				
通学区域の見直し	★	(中学校区の検討)			新しい通学環境	
統合対象校の環境整備(田中小・神明小)		設計等準備	校舎の整備工事等			

＊細かな工程等については、統合推進委員会を中心に協議、検討しながら詳細を詰めてまいります。

＜将来の教育環境を見据えた考え方＞

少子化の進展を見据え、学校規模が縮小することによる様々な課題が生じることの全市的な対応については、岡谷小学校のあり方検討委員会の中でも、今後の重要な課題とされました。

市及び市教育委員会としましては、将来を見据え、岡谷市に相応しい小中一貫校や小中連携のあり方などを含め、未来を担う子どもたちのより良い学校教育の新しい形づくりに向けて、本計画による取り組みを活かしてまいります。

【問い合わせ・連絡先】　岡谷市教育委員会　教育総務課
℡:23-4811(内線1213)